

## 弾道ミサイル発射に係る Jアラート等を通じた緊急情報発信時の対応について

### 1. Jアラートを活用した緊急情報が警戒区域の対象として兵庫県に発信された場合の行動

ミサイルが落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとること。

	緊急情報発信時	発令後の対応	安全の確認方法
在宅中	・自宅待機	・安全の確保が確認できるまで自宅待機 ・安全の確保が確認できれば登校※	テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努め、安全の確保等について確認
登下校中	・下記の行動例に基づき行動 ・公共交通機関乗車中等については当該機関の指示による	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば登下校※	(確認事項の例) ・ミサイルの飛翔方向、着弾場所 ・ミサイルの着弾や落下物の有無
在校中	・下記の行動例を参考とした、危機管理マニュアルに基づいた対応	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば授業を再開、場合によっては下校	・学校、通学路等の被害の有無 等

※安全の確保が確認できれば登校することについて

学校から発信される本校ブログの連絡により、登校時間等はその指示に従って登校すること。

#### <ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例>

活動場所の別	とるべき行動の例
屋外にいる場合	・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。 ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

### 2. ミサイルが着弾した場合の行動

・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。